

式7

(報告書表紙見本) : 「学校」部門

河川基金助成事業

『「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習 活動「上丸子カリキュラム」の推進』 報告書

助成番号 : 2021 - 7212 - 027

川崎市立上丸子小学校

校長 滝澤 純子

2021 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-027	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動 「上丸子カリキュラム」の推進			川崎市立上丸子小学校		
校長名	滝澤 純子	担当教諭名		井上 公介		
過去の助成実績	なし (あり) [助成番号：2020-7212-026 助成事業名：『「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進』]					
キーワード	総合学習 生物調査系					
対象児童生徒	小学生 (3年 171名)					
対象河川名	多摩川	活動場所の指定状況		(なし) 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	発見たまがわっ! ~たま川はかせになろう~					
ねらい	多摩川の自然に直接触れ、興味・関心をもつことを自分なりに調べる活動を通して、多摩川に関われば 関わるほど発見や疑問が見つかる					
評価の観点	知識・技能等、思考・判断・表現等、主体的に学ぶ態度等					
活動時期	4月~10月					
活動形態	総合的な 学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の 活動時間数	35時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
(保護者)	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	(その他)
支援概要	多摩川に生息する昆虫の捕り方、昆虫の特徴、植物の特徴についての学習 (自然調査団の方・多摩動物公園の方を講師に生物調査を実施) 保護者の方に、多摩川での活動での安全確認、見守りをしていただいた。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位 対外発表 ()	(学年単位)	学校全体	模造紙、画用紙で掲示 スライド等		
安全対策に関する課題						
・サイクリングロード等の安全管理						
活動の成果と今後の課題・展開						
・実際に多摩川に行き活動することで多摩川に愛着をもち、自ら課題意識をもって取り組めたことがよかった。 ・この社会状況中、教育活動も制限されることが多く、繰り返し多摩川に行くことができなかったことが課題である。 3年生の児童には、実際に昆虫や植物にふれることがとてもよい体験である。しかし、活動期間が開いてしまうと 学習のつながり、意識のつながりをもたせることが難しかった。学びをつなげていくためにも、期間を開けずに活 動ができるとよりよい学習になる。						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録 する活動分野	学校部門	教育活動	生物調査 系	植物	4~10月	
			生物調査 系	陸上昆虫	4~10月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-027	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動 「上丸子カリキュラム」の推進			川崎市立上丸子小学校		
校長名	滝澤 純子	担当教諭名		井上 公介		
過去の助成実績	なし (あり) [助成番号：2020-7212-026 助成事業名：『「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進』]					
キーワード	総合学習 生物調査系					
対象児童生徒	小学生 (4年 168 名)					
対象河川名	多摩川	活動場所の指定状況		(なし) 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	われらのたまり場多摩川					
ねらい	地域に対する思いや良さにふれる活動を通して、友達と関わり合って学習したり、生活したりするよさを感じ、地域に対して愛着を持ち、大切にしようとする行動する。					
評価の観点	知識・技能等、思考・判断・表現等、主体的に学ぶ態度等					
活動時期	4月～11月					
活動形態	総合的な 学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の 活動時間数	35時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
(保護者)	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	(その他)
支援概要	・中本賢さんにきていただき、多摩川の環境、川での安全指導、魚の捕まえ方、飼育方法などについての学習 ・上丸子小学校父懇会の方に、川での安全指導や見守り					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	(学年単位)	学校全体	模造紙、画用紙で掲示 スライド等		
安全対策に関する課題						
・ライフジャケット等の安全のための装備のチェック・買い替え ・川での安全指導、見守り						
活動の成果と今後の課題・展開						
・上丸子小学校の4年生といえば「ガサガサ探検」と子どもたちがとても楽しみにしている活動である。そのため、学習に対する意識が高い。しかし、活動が先行してしまっていることが課題である。学習にどのように位置づけていくか、単発の活動にならないようにしていかなければいけない。 ・2019年の台風19号の影響により、生態系の変化が考えられる。例年と比べ、ガサガサ探検によって捕まえられる魚の数が減ってきているのが現状である。活動場所を変更していくことも考えていかなければならない。						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録 する活動分野	学校部門	教育活動	生物調査 系	魚類	4～11月	
			生物調査 系	生き物と環境	4～11月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P.46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号		助成事業名			学校名		
2021-7212-027		「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動 「上丸子カリキュラム」の推進			川崎市立上丸子小学校		
校長名		滝澤 純子		担当教諭名		井上 公介	
過去の助成実績		なし あり [助成番号：2020-7212-026 助成事業名：『「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進』]					
キーワード		総合学習 生物調査系					
対象児童生徒		小学生 (5年 170 名)					
対象河川名		多摩川		活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校	
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ							
<p>テーマ : 上丸子防災広報室</p> <p>ねらい : 風水害から上丸子のまちの人々の生活や命を守るための自助の在り方について考えるとともに、自分たちにできることを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。</p> <p>評価の観点 : 知識・技能等、思考・判断・表現等、主体的に学ぶ態度等</p> <p>活動時期 : 7月～3月</p>							
活動形態		総合的な 学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の 活動時間数		3.5時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等（複数記入可）							
保護者		外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者		行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要		<ul style="list-style-type: none"> ・京浜河川事務所の方に来校していただき、河川敷の役割についての学習 ・川崎市危機管理室の方と連携し、マイタイムラインについての学習 					
活動成果		発表形態			成果作品		
		学級単位	学年単位	学校全体	動画作成		
		対外発表 (上丸子小学校保護者、地域の方)					
安全対策に関する課題							
活動の成果と今後の課題・展開							
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで多摩川には、生物調査の活動で訪れることが多かった。しかし、今年度は防災の視点から、河川敷の役割について考えることで多角的に多摩川を捉えることができた。 ・2019年の台風19号の影響を受けた児童も多く、防災に対する意識、探究意欲を高くもって活動することができた。また、自分たちが知るだけでなく、地域の方たちにも知ってもらいたいと学習の最後まで意欲的に活動することができた。 ・今年度も昨年度と同様に、「自助」に特化して学習を進めてきた。「共助」「公助」の視点でも防災について考えていくことも大切である。 							
活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）							
		部門	大分類	中分類		小分類	実施時期
データベースに登録する活動分野		学校部門	教育活動	教育研究 系		防災教育	7～2 月
				系			月

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

複数学年 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進		学校名	川崎市立上丸子小学校		助成番号	2021-7212-027					
2.単元名	発見たまたがわっ！～たま川はかせになろう～											
3.目標	多摩川の自然に直接触れたり、興味・関心をもつことを自分なりに調べる活動を通して、多摩川に関われば関わるほど発見や疑問が見つかる魅力的な場所であることを理解し、自分の興味・関心に沿った多摩川との関わり方や、自分たちが最も伝えたい多摩川の魅力と相手について考えるとともに、これからも多摩川に親しみ、関わっていこうとする。											
4.実施学年 人数	3年 171名											
5.場所	多摩川河川敷 教室											
6.単元構想 (総時間数 35時間)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
3学年・単元目標	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">発見たまたがわっ！～たま川はかせになろう～</div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">多摩川の自然に直接触れたり、興味・関心をもつことを自分なりに調べる活動を通して、多摩川に関われば関わるほど発見や疑問が見つかる魅力的な場所であることを理解し、自分の興味・関心に沿った多摩川との関わり方や、自分たちが最も伝えたい多摩川の魅力と相手について考えるとともに、これからも多摩川に親しみ、関わっていこうとする。</div>											
主な学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">これまでの理科や社会での学習を生かして、総合で多摩川の学習を知り、多摩川で調べたいことや、やりたいことを考える。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">多摩川の河川敷に行き、課題に沿って活動する。活動を振り返り、分かったことや疑問に思ったことを共有し、次の課題を見つける。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">多摩川の自然や生き物に面白い人に分からないことや知りたいことを聞く。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">課題の解決や新たな発見をするためにもう一度多摩川に行く。活動を振り返り、分かったことや疑問に思ったことを共有し、次の課題を見つける。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">お家の人が多摩川についてどう思っているかを把握するためにアンケートをとる方法があることを知り、とることを決める。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">発表会に向けての準備をする</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">発表会をする。</div> </div>											
	評価項目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">先の学習経験をもとに、目的に沿った課題を設定し、解決する方法や計画を立てている。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">実際に見たり資料で調べたりして、自分の課題に合った方法で解決を図っている。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">多摩川の魅力を発見していくという共通の目的のもと、友だちと情報や活動を共有しながら、自分の課題に粘り強く取り組んでいる。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">・自分の課題に沿った情報を、適切な方法で集め、蓄積している。 ・蓄積した情報や知識を、これからの学習や目的と照らし合わせながら、関連付けたり比較したりして、これから活用できるようにしている。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">実際に見たり資料で調べたりして、自分の課題に合った方法で解決を図っている。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の学習状況を見つめながら、課題を設定したり、活動の仕方を考え実践したりしている。</div> <div style="width: 15%; border: 1px solid black; padding: 5px;">伝えたい相手に応じた内容や効果的な表現方法を考えて自分たちの学びの成果を伝えている。</div> </div>										

複数学年 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進		学校名	川崎市立上丸子小学校		助成番号	2021-7212-027					
2.単元名	われらのたまり場多摩リバー											
3.目標	地域に対する思いや良さにふれる活動を通して、友達と関わり合って学習したり、生活したりするよさを感じ、地域に対して愛着を持ち、大切にしようと行動する。											
4.実施学年 人数	4年 168名											
5.場所	多摩川右岸 調布堰付近河川敷（川崎市中原区）、教室											
6.単元構想（総時間数 35時間）	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
4学年・単元目標	われらのたまり場多摩リバー											
	多摩川やその河川敷に生息する生き物や、その水質環境を調べることを通して、小さな命の大切さや環境を守るために努力している人々の存在を知り、自分たちにもできることを考えることができる。											
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○講師の中本賢さんを迎え、多摩川の川の様子や多摩川がどのような川であるかを考える。 ○多摩川でアユの遡上観察を行う。 ○多摩川にはどのような生き物や植物がすんでいるのかを考え、自分が調べたいことを見つける。 											
	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川に行き、興味をもった事に対して課題をもち、課題解決に向けて粘り強く試行錯誤しながら活動する。 ガサガサ探検(生き物さがしをテーマにしている子をもとにした共通体験) ガサガサ探検(前回の振り返りをもとに、捕れなかったもの・捕りたいものなど意欲を高めて) ○ガサガサ探検を行い、どのような生き物が捕れるのかを実際に体験する。 ○2回目のガサガサ探検に向けて自分の課題を明確にする。 ○多摩川デイでガサガサ探検を行い、どのような生き物がとれるのかを実際に体験する。 ○一回目の活動と比較し、自信の課題に則して情報を分類・整理する。 西丸子小学校との多摩川学習についての発表交流 ○西丸子小学校の子供たちと、自らの課題について考えをまとめて発表する。 ○相手の学校の友達の発表を聞いて、多摩川の生き物や環境について理解を深める。 文化祭で、全校や地域に向けて学習成果を発表 ○学習成果をもとに発表会を行う。 											
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の活動の課題を想起しながら、多摩川での活動で生き物と触れ合い、自らの課題意識をもつ。 ○課題解決の見通しをもてるようにする。 											
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の課題に対して、解決するための方法を考え、取り組もうとしている。 ○活動後、めあてと照らし合わせてどうだったかを振り返り、次回の活動に生かそうとしている。 ○自分なりのめあてを決めて、中本さんやゲストティーチャーのアドバイスを参考にしながら解決しようとしている。 ○生きものをつかまえるにはどうしたらよいかを友だちと協力して考え、実行しようとする。 ○相手意識をもち、自分自身の考えをまとめ、発表する。 ○相手意識をもち、自分自身の考えをまとめ、発表する。 											

複数学年 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子多摩川カリキュラム」の推進		学校名	川崎市立上丸子小学校		助成番号	2021-7212-072					
2.単元名	上丸子防災広報室											
3.目標	風水害が起きた時の過去の様子や風水害に備える人々の取り組みや考え方をインタビューする活動を通して、風水害から人々の生活や命を守る国や市の取り組みやマイタイムラインを作成する意味を理解し、風水害から上丸子のまちの人々の生活や命を守るための自助の在り方について考えるとともに、自分たちにできることを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。											
4.実施学年 人数	5年生 170人											
5.場所	教室											
6.単元構想 (総時間数)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
○学年・単元目標	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 河川敷の役割を見つめ直そう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 自分たちの命を守るために必要な情報を集めよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 自分たちの命を守るために行動しよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 皆の命を守るために、学習の成果を生かして自助の大切さを伝えよう </div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 風水害が起きた時の過去の様子や風水害に備える人々の取り組みや考え方をインタビューする活動を通して、風水害から人々の生活や命を守る国や市の取り組みやマイタイムラインを作成する意味を理解し、風水害から上丸子のまちの人々の生活や命を守るための自助の在り方について考えるとともに、自分たちにできることを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。 </div>											
主な学習活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・普段何気なく過ごしている多摩川の河川敷の役割について知る。 ・京浜河川事務所の方のお話から河川敷がなぜこのような形状になっているのか、見えないところに隠された工夫を知り、考えたことを共有する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・2019年に発生した台風19号により受けた上丸子のまちの様子を振り返る。多摩川が氾濫した箇所があったことを思い出す。 ・資料を見ながら、自分たちの身近にいる大人の行動を考える。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【マイタイムラインを作ろう】 ・京浜河川事務所や川崎市危機管理室の方の話聞き、自分たちでできる備え(マイタイムライン)について知り、マイタイムラインを書いてみる。 ・自分で作成したマイタイムラインを友達、保護者、川崎市危機管理室の方に見てもらい、よりよいマイタイムラインにするためにアドバイスをもらう。もらったアドバイスをもとにして、マイタイムラインを再度作成する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・上丸子が台風や大雨に対して安全・安心なまちにするために自分たちが学んできたこと(自助の大切さ)を保護者や地域の方たちに発信する。 </div>											
	評価項目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・多摩川の河川敷がどのように使われているか思い返し、河川敷の役割について考える。 ・タイムラインづくりの際に活用できるように、得た情報や考えたことを蓄積する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・2019年に発生した台風19号により受けた上丸子のまちの様子や理科「天気の変化」で学んだことから、単元の学習の見通しをもっている。 ・川崎市危機管理室の方にインタビューすることで、行政はどのような動きをしているのか理解している。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・川崎市危機管理室の方の話聞き、自分たちにできる備えにマイタイムラインがあることを理解している。 ・自分に必要だと思う行動を考え、マイタイムラインに表している。 ・作成したマイタイムラインを多くの人にてもらい、よりよいものにするべく情報を集めている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・上丸子が安全・安心なまちになるように、学んだことをもとに方法を考えている。 ・上丸子が安全・安心なまちになるように、伝える内容を考えている。 ・友達と協力して、発信する方法を考え、実行している。 </div>										

複数学年 活動報告書

1.助成事業名	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子多摩川カリキュラム」の推進	学校名	上丸子小学校	助成番号	2021-7212-072
---------	--	-----	--------	------	---------------

7.実際にいった単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
○ 学 年	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">河川敷の役割を見つめ直そう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たちの命を守るために必要な情報を集めよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たちの命を守るために行動しよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">皆の命を守るために、学習の成果を生かして自助の大切さを伝えよう</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>風水害が起きた時の過去の様子や風水害に備える人々の取り組みや考え方をインタビューする活動を通して、風水害から人々の生活や命を守る国や市の取り組みやマイタイムラインを作成する意味を理解し、風水害から上丸子のまちの人々の生活や命を守るための自助の在り方について考えるとともに、自分たちにできることを意識しながら生活したり行動したりすることができるようにする。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>普段何気なく過ごしている多摩川の河川敷の役割について、京浜河川事務所の方の話から学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーができるくらい広いのは、それだけたくさん水を逃がす必要があるからなんだ。 ・堤防がしっかり固めた土でできていたなんて知らなかった。 </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>川崎市危機管理室の方から風水害の際の被害の大きさや、取るべき行動について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所にペットを連れていけるなんて知らなかったな。 ・被害の広がり方が、同じ町でも場所によって違うよ。友達と行動が変わってきそうだ。 </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>京浜河川事務所や川崎市危機管理室の方の話を聞き、自分たちでできる備え(マイタイムライン)について知り、マイタイムラインを書いてみる。その後、自分で作成したマイタイムラインを友達、保護者、川崎市危機管理室の方に見てもらい、よりよいマイタイムラインにするためにアドバイスをもらう。もらったアドバイスをもち、マイタイムラインを再度作成する。</p> <p>家庭によって必要な情報が違う。自分に合ったものを作らないと。</p> </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・上丸子が台風や大雨に対して安全・安心なまちにするために自助の大切さを保護者や地域の方たちに発信する。 ・マイタイムラインを知らない人はたくさんいるね。この取組をまずは家族でしっかり共有して、広めていきたい。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div>										

8.成果と課題

身近に慣れ親しんでいる多摩川の河川敷が、防災の役割も果たしていることを知り、多摩川を見る視点の広がりを感じた。その意識をもって改めて防災の学習に取り組むことで、如何に2年前の台風19号であれだけの被害になったことのすごさを実感し、自分事として捉えて学習に臨んでいた。京浜河川事務所の方からマイタイムラインづくりにつながるお話を聞き、その内容を整理分析すると、マイタイムラインを作ることの重要性を実感することができた。そこから、自分に必要な情報を集め、何度もアイデアを練り直してできたものを、保護者と相談して、より自分の家庭に合ったものを作ることができた。そこから分かったことを共有していくと、多摩川の近くで暮らす者として、河川とどう向き合って生きていくべきかを理解することができ、さらにそこから得たことを周りに広げていくことの重要性を理解することができた。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-027	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子多摩川カリキュラム」の推進	川崎市立上丸子小学校 滝澤 純子



フィールド：多摩川

日付：2021年7月8日

コメント：防災の学習を始めていくにあたり、子ども達が一番自分事として捉えられるものは何かを考えた。2年前の台風19号による被害もあったことから、多摩川を中心として防災学習を進めていくこととした。その際に、より多摩川を意識しながら学習を進められるよう、京浜河川事務所の方から河川敷の役割についてお話をしていただいた。子ども達は、普段から野球やサッカーで慣れ親しんでいる河川敷に、防災の役割もあることを知り、驚きを隠せないようだった。また、実際に多摩川でお話を聞くことで、より実感的に内容を捉え、次に生かしていこうとする姿が見られた。

フィールド：体育館

日付：2021年11月26日

コメント：再び京浜河川事務所の方を招き、風水害の際の行動についてお話を聞いた。過去の台風19号を想起し、すでに防災について考えだしていた子どもたちは、食い入るように話を聞いていた。特にハザードマップを用い、自分の住んでいるところの被害がどうなるかを近所の友達同士で確認し合うことによって、自分たちの住む地域が如何に水害の危険性が高いのかを実感し、自助の意識を高めている様子が見られた。

フィールド：教室

日付：2022年2月17日

コメント：マイタイムラインを作り始め、いろいろと情報を収集していく中で、本当に必要な情報は何か、ということに子ども達が悩み始めていた。そこで、川崎市危機管理室の方へ、オンラインでのインタビューを行った。以前に話を聞いた時とは異なる、より災害を自分事として捉えた視点で質問をする姿が見られた。高層マンションに住んでいる人間の取るべき行動とは、多摩川のすぐ近くに住んでいる人間はどのタイミングで非難すべきか、避難所で必要なものは何かなど、自分の住環境に合わせて、自分の家族を守るために必要な情報について話し合うことができた。

1.助成事業名	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進	学校名	川崎市立上丸子小学校	助成番号	2021-7212-027
---------	---------------------------------------	-----	------------	------	---------------

7.実際に行った単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
4 学 年	われらのたまり場多摩リバー										
	<p>多摩川やその河川敷に生息する生き物や、その水質環境を調べることを通して、小さな命の大切さや環境を守るために努力している人々の存在を知り、自分たちにもできることを考えることができる。</p>										
	<p>○講師の中本賢さんを迎え、多摩川の川の様子や多摩川がどのような川であるかを考える。 ○多摩川でアユの遡上観察を行う。 ○多摩川にはどのような生き物や植物がすんでいるのかを考え、自分が調べたいことを見つける。 (実施)</p>	<p>①ガサガサ探検を行い、どのような生き物が捕れるのかを実際に体験する。 ②2回目のガサガサ探検に向けて自分の課題を明確にする。 (①実施、②2回目ガサガサ探検中止)</p>	<p>○自分なりのめあてを決めて、中本さんやゲストティーチャーのアドバイスを参考にしながら解決しようとしている。 ○生きものをつかまえるにはどうしたらよいかを友だちと協力して考え、実行しようとする。 (実施)</p>	<p>①西丸子小学校の子供たちと、自らの課題について考えをまとめて発表する。 ②相手の学校の友達の発表を聞いて、多摩川の生き物や環境について理解を広げる。 (①②中止)</p>	<p>学習成果をもとに、文化祭で発表会を行う。 (文化祭中止のため、クラス間で発表会を実施)</p>						

8.成果と課題

子供たちは多摩川に愛着をもち、自分なりの課題意識をもって、河川敷で活動し、課題解決を目指すことができた。ゲストティーチャーからのお話を聞き、解決に役立てることができた。今年度もコロナ禍という状況で、多摩川に行く回数が限られ、地域の方や保護者と呼んでの発表会ができなかったが、自分たちなりにできる範囲で学習の表現方法を考え、実践できたのはよかった。

2年前の台風19号の影響により多摩川の川辺の様子・それを取り巻く生態系が大きく変わってしまったこと、新型コロナウイルスの流行による学習計画変更の影響により、例年のように体験豊かな学習はできなかった。また近隣校である西丸子小との交流も行うことができなかった。しかし、ゲストティーチャーの中本賢さんによる多摩川の自然についての導入学習により自分たちが多摩川について知りたいこと、学びたいことを考えて課題を設定し学習することができた。本校の重要な「材」である協力してくださる人の大切さに子どもも教職員も改めて気づかされたことと、協力して下さる方々を虜とってしまう多摩川の「材」としての魅力を感じることができたことが最大の成果だと感じる。課題はこれまでのガサガサ探検による学習をいかに実施していくかである。上丸子小の4年でのガサガサ探検は伝統になっており、子どもたちもガサガサ探検をすると高学年へ一歩近づくといった認識があるくらい楽しみにしている学習である。それをこのコロナ禍の中、様子が変わってしまった多摩川をいかに学習の材として継続できるか、今年度の反省を生かして見直しをもって学習を計画し、今年度のよさである子どもたちと一緒に考え一緒に悩んで課題を解決していくプロセスを大事にして学習を深めていきたい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-027	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進	川崎市立上丸子小学校 滝澤 純子



フィールド：上丸子小学校 体育館

日付：2021年6月10日

コメント：実際に多摩川に行く前に、ゲストティーチャーの中本賢さんによる事前学習を実施した。課題をもった子どもたちに、これから多摩川で探究する活動をしていくための意欲付けをした。いろいろな話を聞き、子どもたちの興味・関心が高まった。



フィールド：多摩川右岸 調布堰付近河川敷

日付：2021年6月21日

コメント：実際に多摩川に行く前に、多摩川で調べたいことを考えた。課題をもった子どもたちに、これから多摩川で探究する活動をしていくことを伝え、意欲付けをした。初夏の多摩川河川敷は、草花が青々と生え、虫や野鳥がたくさんいたので、子どもたちは生き物を見つける活動にすぐに没頭していた。ただ、水生生物などについては、例年よりも数が少なかった。ヘドロが堆積し、水生生物の姿がほとんど見られなかった多摩川の水質が良くなったのはなぜか、という疑問から新たな学習課題が見つかり、次の学習につなげていくことになった。



1.助成事業名	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進	学校名	川崎市立上丸子小学校	助成番号	2021-7212-027
---------	---------------------------------------	-----	------------	------	---------------

7.実際にいった単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
3 学 年	<p>これまでの理科や社会での学習を生かして、総合で多摩川の学習をすることを知り、多摩川で調べたいことや、やりたいことを考えた。 主に、生息する虫や植物、石について調べたいという子が多かった。</p>	<p>多摩川の河川敷に行き、課題に沿って活動する。 活動を振り返り、分かったことや疑問に思ったことを共有し、次の課題を見つけた。 虫にせよ植物にせよ、前回多摩川に行った時と違う様相で、違いを考える子や、次回の予想を立てる子もいた。</p>	<p>多摩川の自然や生き物に詳しいゲストティーチャーに分からないことや知りたいことを聞いた。 自分たちでは調べられなかったことを教えてもらうことができ、さらに追究への意欲を高めていた。</p>	<p>課題の解決や新たな発見をするためにもう一度多摩川に行った。 分かったことをマップや用紙にまとめる姿が多く見られるようになった。 子どもたちの中には、自分たちが調べたことを誰かに伝えたい・発表したいという思いが高まってきた。</p>	<p>保護者に自分たちが調べて学んだことを伝えることになった。 お家の方が多摩川についてどう思っているかを把握するためにアンケートを取り、発表方法を考えようとした。</p>	<p>アンケートによって、何をどのように伝えればよいかを考えていたが、発表会ができなくなり、代わりにポスターをつくってお家の人みせようということになった。自分たちが得た知識とアンケート結果を照らし合わせて紙面を考えていった。</p>						
												

8.成果と課題

多摩川に愛着をもち、自分なりの課題意識をもって、河川敷で活動し、課題解決を目指すことができた。子どもが疑問に感じたことをもとに、ゲストティーチャーからのお話を聞き、解決に役立てることができた。子どもたちが全く知らなかったことを教えてもらい、さらに調べたいという意欲を高めることができた。多摩川に行く回数に限られ、どうしても前回の活動や学んだことをそのままつなげていくというのが難しかった。振り返りをしっかりとって、前回の写真や記録をいつでも見返することができるようにして、学びがつながるようにした。今年度もコロナ禍という状況で、地域の方や保護者を呼んでの発表会ができなかったが、自分たちなりにできる範囲で学習の表現方法を考え、実践できたのはよかった。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-027	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動「上丸子カリキュラム」の推進	川崎市立上丸子小学校 滝澤 純子



フィールド：多摩川河川敷

日付：2021年5月24日

コメント：実際に多摩川に行く前に、理科での生き物の学習や社会科の地域の学習をもとに、多摩川で調べたいことを考えた。課題をもった子どもたちに、これから多摩川で探究する活動をしていくことを伝え、意欲付けをした。春の多摩川河川敷は、草花が鮮やかに生え、虫がたくさんいたので、子どもたちは生き物を見つける活動にすぐに没頭していた。また来たいという思いと、これはなんだろうという疑問をもち、次の学習につなげていくことになった。



フィールド：多摩川河川敷

日付：2021年6月18日

コメント：多摩川の自然や生き物にくわしいゲストティーチャーに分からないことや知りたいことを聞いた。虫では草の下の方に隠れている黒い虫が「ゴムムシ」だということ。名前や特徴だけでなく、ペットボトルを使った捕り方まで教えてもらった。植物では特に「ギンギシ」という雑草について教えてもらった。自分たちでは調べられなかったことを教えてもらうことができ、さらに追究への意欲を高めていた。



フィールド：教室

日付：2021年7月5日

コメント：自分たちが調べて学んだことを保護者に伝えようということになった。保護者はどんなことを知りたいのかアンケートをとった。そのアンケートをもとにして整理分析し、自分たちが発表する内容と方法を考えていった。ただ漠然と学んだことを伝えるのではなく、相手意識をもつことによって、伝える内容の重点が決まったり、軽重をつけたりするようになった。

[学校部門]

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-027	「多摩川」を題材とした子どもたちの体験学習活動 「上丸子カリキュラム」の推進	川崎市立上丸子小学校 滝澤 純子

主な実施箇所 多摩川

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)

助成事業の主な実施箇所

